三条税務署長賞

『税についてと私の考え』

新潟県立三条商業高等学校　三年　阿部（あべ）　咲良（さくら）

税金は、私たちが普段何気なく使っているお金の一部が国や地方自治体に徴収されるもので、税金の仕組みや役割を理解することは、高校生としての社会的な意識を高める上で重要なことだと考えています。

まず、私たちが一番分かりやすい税金は消費税です。消費税は私たちが商品やサービスを購入する際に支払われる税金です。消費税は一般財源として使用されることが多く、国や地方自治体の予算や公共事業の資金源として重要な役割を果たしています。消費税率の変動や税制改革によって、生活費や経済の動向にも影響が出ることもあります。

次に、所得税については、個人の収入に応じて徴収される税金で、高校生にはあまり関係がなさそうに思えますが、高校生がアルバイトやパートで収入を得る場合、一定の金額を超えると所得税がかかるようになるらしく、私たち高校生でも関わっていく税金なのです。そして所得税は所得の公平な分配を目的としているため、高所得者から多くの負担を求める仕組みです。税金を通じて社会の公平性や負担の均等性を実現しながら存在しているのが所得税です。

また、法人についても一部理解しておくことが大切です。法人税は会社や団体が利益を上げた場合に課せられる税金で、企業の納める税金は社会全体の発展や公共サービスの提供に役立てられます。法人税率や税金改革は、企業の経済活動や雇用の動向にも影響を与えるため、経済に興味を持つ高校生としては重要なテーマとなると思います。

税金の役割や使途についても理解しておくことが大事です。税収は国や地方自治体の予算に充てられて、公共施設の整備や教育、医療、福祉など社会全体の発展に貢献します。私たちが快適な生活を送るために必要なインフラやサービスは、税金によって支えられています。税金を適性に徴収し、使われることで社会の福祉を向上させているのだと私は考えています。

結論として、高校生として税に関する理解を深めることは社会にこれから先出る為には必要だと考えます。税金の種類や仕組み、役割や使われ方について学び、税務申告や節税の方法についても理解することで、将来の自己責任や社会参加に備えることができます。税金は社会を支える大切な要素であり、私たち高校生もその一員として責任を持ち、将来の社会の発展に貢献していくことが自分達にとっても社会にとってもより良いものにつながっていくのではないかと思います。